山椒大夫（1954）

メディア 映画
ジャンル 文芸　ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 124分
初公開日 1954/03/31

【解説】
森鴎外の同名小説を、八尋不二と依田義賢が共同で脚色し、溝口健二がメガホンをとった文芸作品。特に美術と撮影はレベルが高く、ヴェネチア国際映画祭で銀獅子賞を受賞した。美しいラストシーンは、ゴダールが「気狂いピエロ」において引用したことでも知られる。
平安時代末期、農民を救うため将軍にたてついた平正氏が左遷された。妻の玉木、娘の安寿と息子の厨子王は越後を旅している途中、人買いにだまされ離ればなれになってしまう。玉木は佐渡に、安寿と厨子王は丹後の山椒大夫に奴隷として売られた。きょうだいはそれから十年もの間、奴隷としての生活を続けるが、ついに意を決して逃げ出すことにする。しかし追っ手に迫られ、安寿は厨子王を逃すため池に身を投げるのだった。

【クレジット】
監督 溝口健二
製作 永田雅一［製作］
企画 辻久一
原作 森鴎外
脚本 八尋不二
依田義賢
撮影 宮川一夫
美術 伊藤憙朔
衣裳 吉実シマ
編集 宮田味津三
音楽 早坂文雄
擬闘 宮内昌平
助監督 田中徳三
出演 田中絹代　玉木
花柳喜章　厨子王
香川京子　安寿
進藤英太郎　山椒大夫
河野秋武　太郎
菅井一郎　仁王
見明凡太郎　吉次
浪花千栄子　姥竹
毛利菊江　巫女
三津田健　藤原師実
清水将夫　平正氏

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

香川良介	曇猛律師
橘公子	波路
相馬幸子	萱野
小園蓉子	小萩
小柴幹治	内蔵介工藤
荒木忍	左太夫
加藤雅彦	少年時代の厨子王
榎並啓子	小女時代の安寿
大美輝子	遊女中君
金剛麗子	汐乃
南部彰三	平正末
伊達三郎	金平

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.